

数字で見る土木学会

2017年11月1日現在



347 選奨土木遺産

土木学会では毎年、土木施設を選奨土木遺産として選定しています。土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木建造物の保存に資することを目的として2000年度に始まり、全国各地に認定施設があります。



旧網走線開業時の鉄道施設群

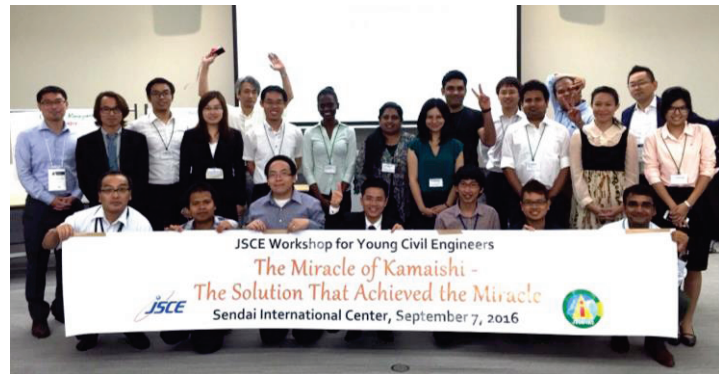
	北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	西部
河川・海岸	5	6	17	9	5	8	2	6
ダム・砂防堰堤	2	3	8	3	2	4	2	3
橋梁	8	8	33	18	19	9	9	17
道路	2	2	10	3	3	1	1	3
鉄道	5	3	10	3	12	4	4	5
トンネル・隧道	2	1	9	4	6	1	1	4
港湾	7	3	2	1	1	1	1	3
上下水道	4	4	14	3	1	1	1	5
発電	5	0	5	3	3	1	1	1
灌漑施設	0	5	2	3	4	1	0	3
その他	4	5	7	2	1	8	3	4

支部、施設種別一覧 ※1 複数に種別される施設も存在 ※2 海外にも存在 (ダム1, 土水道1)
<http://www.jsce.or.jp/contents/isan/2016.shtml>

海外との交流も土木学会の仕事の一つです。

2004~2016年度の間に、31回のジョイントセミナーを開催し、合計155名を派遣しました。2016年度は、インドネシア等との間でジョイントセミナーを開催しました。

31回のジョイントセミナー
 155人を派遣
 海外在住会員 172名



Workshop for Young Civil Engineers (仙台, 2016)



104人/団体に 13の賞

1914年に創立された土木学会は、1920年から、功績のある事業、人を表彰してきました。現在では13の賞があり、2016年度は104人/団体が受賞しました。

功績賞、技術賞、論文賞、吉田賞、吉田研究奨励賞、田中賞などは1960年代にはすでにあり、これまでに数多くの受賞者を生んできました。これらの賞を受賞することは、土木学会の会員にとっては大変に大きな名誉です。

<http://www.jsce.or.jp/prize/index.shtml>



2016年度に受賞されたみなさん

2016年度 災害調査団

14回 131人

土木学会では、国内外を問わず大災害が発生した際に、発災後ただちに災害対策本部を設置し調査団を派遣して、専門的調査を行い、学術的、技術的見地からメカニズムの解明と防災上の提案を行っています。

東南アジアを中心とする海外へは、1999年から2015年の間に、34回、延べ366人の調査団を派遣しています。2015年は関東・東北豪雨災害に延べ85名の調査団を派遣しました。また、2016年は熊本地震に調査団を派遣しています。

<http://committees.jsce.or.jp/report/>



熊本地震会長特別調査団の活動

“11月18日は土木の日”

土木学会では、「土木」の2文字を分解すると十一と十八になることと、土木学会の母体となった「工学会」の創立日が明治12年(1879年)11月18日であったことから、11月18日を「土木の日」と定めています。

2016年度は、市民普請大賞2016と土木偉人映像展「行基」の二部構成からなる「土木の日シンポジウム2016」と、土木界が保有する歴史的資料や図面、写真など、普段は目にすることができない各種コレクションを展示、公開している「土木コレクション2016 あなたは橋派? 鉄道派?」を実施しました。

土木コレクション2016を訪れた方

38,000人



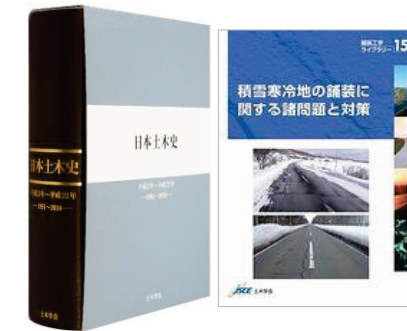
土木コレクション2016 (新宿西口)



2016年度に発行した書籍

26点

設計時の基準となる「示方書」や、様々な書籍を発行しています。



支部分会主催の行事

約 250 行事

約 12.0 万人が参加

活動項目

26

2015年に発足した若手パワーアップ小委員会は、活発に活動を行なっています。

数字は2016年度の活動です。発足後の累計では、活動42件、若手パワーアップ塾参加者109人、SNS投稿662件となりました。

ヤル気のある若手募集中!



若手パワーアップ小委員会

<http://committees.jsce.or.jp/kikaku03/>

若手パワーアップ塾の参加者 80人

2016年度の活動 SNS投稿 455件